

フットケアの教育と実践のための研修事業

社会福祉法人 むつみ会

〒331-0068 埼玉県さいたま市西区飯田新田 91-1

助成事業の概要

当施設を利用している高齢者の多くの方の足にトラブルがあり、対処できていない状態が続いているが、その原因の一つとして職員の「足の大切さ」とフットケアに対する認識の低さが挙げられる。当研修を通し、一人でも多くの職員に「足の大切さ」とフットケアの重要性を知ってもらうことを目標とする。

7 月～ 10 月にかけて 1 回 3 時間程度の研修を 5 回程度実施。足の大切さとフットケアの必要性を広めること、フットケアに意欲的に取り組んでいける仲間作りも兼ねて、会場は当施設だけではなく、他施設でも実施した。1 回の講習につき参加者 10 名を 5 回実施し、合計 50 名程度の参加者を目標とした。

前半の座学において、足の構造、爪の役割・構造、保湿の必要性等を学び、後半に演習として参加者同士パートナーとなり足浴、爪切りを実施（実際に使用している専門器具を使用してもらうことで、より興味を持って取り組めるようにする）。併せて足のストレッチなどを交えて足の大切さの理解を促していく。

事業の成果

7 月～ 10 月にかけて全 5 回にわたり、一般社団法人フットケア・ヘルステック協会に講師派遣を依頼の上開催。

当初 50 名の予定であったが希望者が多くキャンセル待ち状態になり総受講者 64 名の参加者を

もって終えることが出来た。介護職員だけでなく、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護支援専門員、事務職員など多岐にわたり参加してもらうことが出来た。

参加者へのアンケートでは多くの方が研修内容に高い評価をつけ、「足の大切さがわかった」「実際に体験できたのはよかった」「注意しなければいけない点がわかった」など多くの肯定的な意見や「元々フットケアに興味があったのでどのようにすればよいかわかった」「より上のステップで勉強していきたい」などの肯定的な意見が多く聞かれたが、「時間が短かった、もっと演習を行う時間があればよい」「器具の扱いが難しい」といったすぐに実践することへの難しさを危惧する意見も聞かれた。また、「いい事だし、必要な事ではあるが、現在の業務にプラスしてやるのはむずかしいのではないか」「一人にあればいいくらい時間をかけるのは厳しい」といった意見もあり、学んだことをどう業務に活かしていくのか、どのようにフットケアを今後取り入れていくのかという課題も明確になった。

本研修の目的であるフットケアの重要性を知ってもらうという点では、研修参加者より「研修してから以前より足に注目するようになった」「爪が伸びきる前に切るようにしている」など意識や取り組みにも変化が見られるようになった。

成果の広報、公表

当法人の年 3 回作成・配布している機関紙において、特集で取り上げる予定である。

関係機関、利用者、ご家族等約 2500 枚部発送予定。

特集ページでは企画者以外にも参加者職員にも感想や今後どのように研修を活かしていくか、といったコメントを記載予定。

また当法人ホームページ、Instagram 等においても研修の実施を報告する予定である。

■ 今後の展開

本研修を通して多くの参加者にフットケアの必要性を伝えることが出来た。業務の中に組み込むことは人材不足などの問題もあり、すぐの解決は難しいが、足に注目する機会が増えることで現在多発している足のトラブルを未然に防ぐことができるようになると思われる。また今回の研修を経て、フットケアへ興味を持ち、より専門的な勉強や演習を行いたい希望者が出てきており、法人としてもひとりでも多く、フットケアを実施できる人材の育成・確保に努めていき、当法人だけでなく、広くフットケアの必要性を認識してもらい、一人でも多くの高齢者に足のトラブルがなく「歩行」を継続してもらえるように取り組んでいきたい。